

【取扱い厳重注意】

平成23年12月9日

聴取結果書

東京電力福島原子力発電所における事故調査・検証委員会事務局

局員 三田 浩平

平成23年11月10日、東京電力福島原子力発電所における事故調査・検証のため、関係者から聴取した結果は、下記のとおりである。

記

第1 被聴取者、聴取日時、聴取場所、聴取者等

1 被聴取者

福島県生活環境部 佐藤 節夫 部長

2 聴取日時

平成23年11月10日午後3時0分から同日午後3時20分まで

3 聴取場所

福島市杉妻町2-16 福島県庁8階 生活環境部長室

4 聴取者

三田主査

5 ICレコーダーによる録音の有無等

 あり なし（理由：（「対象者の希望による。」など簡潔に記載））

第2 聴取内容

3月14日の3号機に係るプレスについて
別紙のとおり

第3 特記事項

特になし。

【取扱い厳重注意】

別紙

私は、県原子力災害対策事務局長として、発災直後から、■■■■ GM や■■■■東京電力福島事務所長から、プラント状況についての説明を受けていた。保安院とやりとりをしていたかどうかは、私はほとんど記憶がないので、肯定も否定もできない。

3月11日から15日くらいまでの間は、通信状況が非常に悪く、プラント情報が福島県庁に入ってこなかったため、福島県関係本部員会議を開く度に、東電福島事務所職員に福島県庁へ来てもらい、同会議において東電福島事務所職員にプラント状況の説明をしてもらった。

マスコミに対して公表をしていた。■■■■所長が、1号機建屋爆発後の写真を福島県庁に持ってきて、マスコミに公表したことは覚えているが、それをマスコミに公開することについて私が調整をしたか否かは覚えていない。■■■■所長が、福島県庁やマスコミから、「1号機の状況が一目で分かるような、写真や映像等を提供して欲しいという要求」があった旨お話しされているとのことであるが、私は、要求をしたのかしてないのかを含めてほとんど記憶がないが、そうであるのかもしれない。

3月14日朝方に、3号機圧力が上昇して危険だという旨の説明を東電福島事務所の誰かから受けたことは覚えているが、国との調整がつかないために、関係本部員会議で3号機圧力上昇について話すことができないとの旨の話を■■■■所長から聞いたか否かについては覚えておらず、肯定も否定もできない。

知事に対しては、私が状況説明することが多かったが、3号機圧力上昇についての広報関係で、そのようなことを知事に説明したかどうか、私は覚えておらず、肯定も否定もできない。

福島県庁に連絡されていない事項が官房長官記者会見で発表されたことが何度かあり、そのことについて、国側に抗議したことがあるが、いつ誰から誰に、何について抗議の申し入れをしたかは、私は覚えていない。